

病害虫発生予察注意報（第 1 号）

令和 8 年 8 月 28 日
神奈川県農業技術センター

病害虫名：シロイチモジヨトウ

作物名：ネギ、キャベツ等野菜類

1 発生地域：県下全域

2 発生量：多

3 注意報発令の根拠

- (1) 県内に設置しているフェロモントラップへの雄成虫誘殺数は、直近 1 か月で平年より増加している。(三浦：463.4 頭(平年値比較 1.74 倍), 横浜：336.3 頭(平年値比較 1.95 倍), 伊勢原：187.4 頭(平年値比較 1.45 倍)) (図を参照)
- (2) 8 月に実施したネギの巡回調査では、横浜市、横須賀市、三浦市、および平塚市において本虫による被害が確認されている(写真 1)。
- (3) 気象庁の 3 か月予報(8 月 25 日発表)によると、向こう 1 か月の気温は平年より高くなると予想されており、次世代の個体数の発生に好適な条件が続くことが懸念される。

4 被害と生態

- (1) 若齢幼虫は集団で葉の先端に近い部分や葉の折れた部分に小さな穴をあけて葉身内に侵入する。(写真 2)
- (2) 齢が進むと分散して食害し、葉に穴をあけるか、途中で葉身を食い切り、外部に出てきて食害するようになる。(写真 3)
- (3) 雌成虫は葉上に 10 粒から数十粒の卵塊を産卵する。卵は雌成虫の尾毛で灰白～灰褐色に覆われる。(写真 4, 5)

5 防除対策

- (1) 幼虫は葉を食害するため、ほ場をよく観察し、食害痕や虫糞が確認された場合は薬剤防除を実施する。
- (2) 葉内に食入した幼虫や中～老齢幼虫には薬剤の防除効果が低下するため、若齢幼虫を対象に早期防除に努める。
- (3) 今後の発生状況は、病害虫防除部のホームページ上に掲載している情報を参考にする。
- (4) 薬剤抵抗性の発達を防ぐために同一系統の薬剤の連用を控え、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を徹底する。
- (5) 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守する。

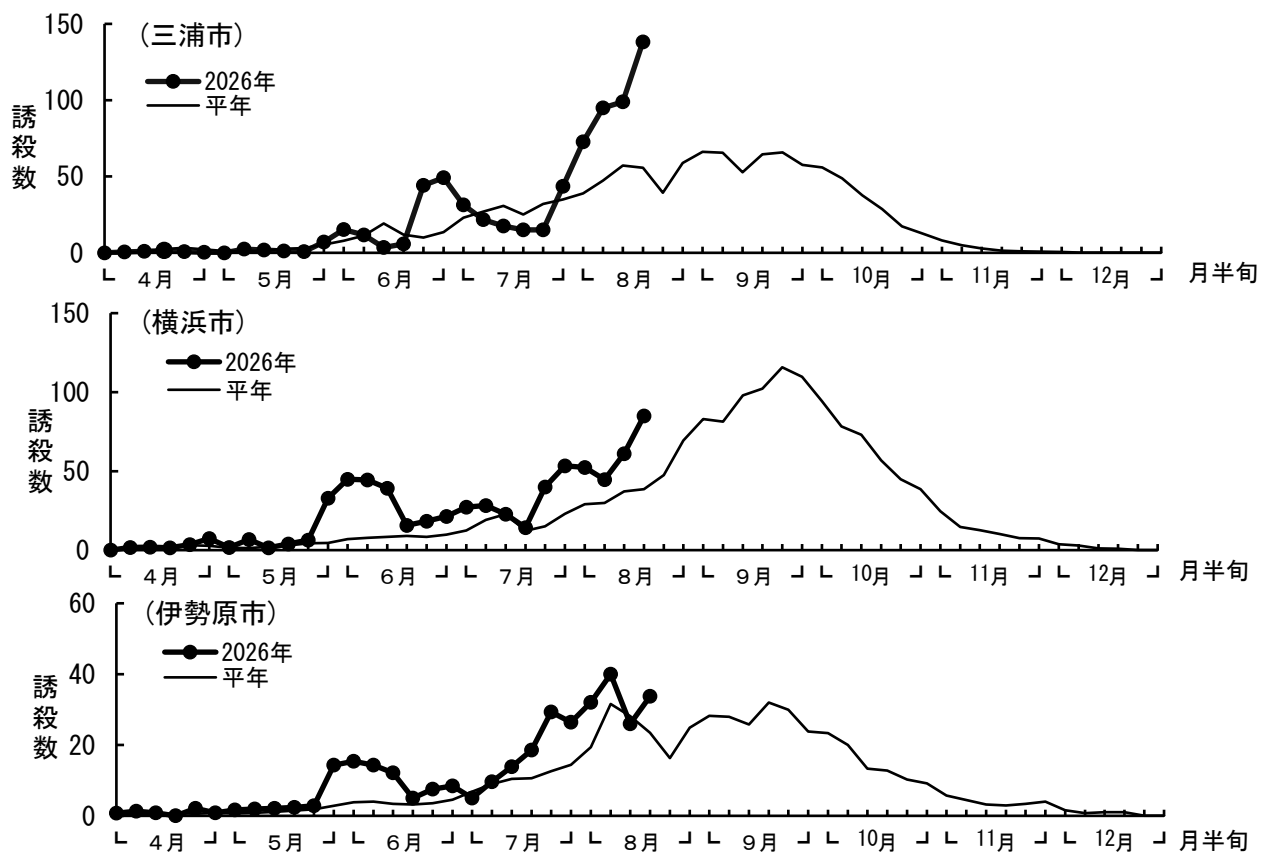


図 フェロモントラップにおけるシロイチモジヨトウの雄成虫誘殺数(三浦市、横浜市、伊勢原市)



写真1 ネギの食害



写真2 若齢幼虫



写真3 老齢幼虫



写真4 粘着版に誘殺された成虫



写真5 卵塊

神奈川県農業技術センター 病害虫防除部

〒259-1204 平塚市上吉沢1617

TEL 0463-58-0333 FAX 0463-59-7411

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f450002>